

# 消化器・肝臓センター



## NEW 一冊 NO. 70



2021.4

## 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 新ガイドライン登場!

肝臓は沈黙の臓器と言われている通り、ほとんど自覚症状はありません。早期発見のためには、腹部エコー検査が重要です。また生命予後に最も関連するのは、肝臓の線維化の有無です。2020年11月NAFLD/NASH診療ガイドラインが改訂され、肝線維化進行度のスコアリングシステムでFIB-4 indexとNFS(NAFLD fibrosis score)が強く推奨されています。FIB-4 indexは、AST、ALT、血小板数、年齢で計算できるため、一般診療で評価可能です。またNFSは年齢、BMI、高血糖、血小板数、アルブミン、AST/ALT比で計算されます。NAFLD症例におけるFIB-4 index、NFSの高値は全身の発がんとも関連があるとされ、今後も様々な用途が期待されます。

NAFLDの治療には、食事・運動療法が大切とされています。また新ガイドラインでは、2型糖尿病を合併するNASHにおいて、体重減少作用のあるSGLT2阻害薬、GLP-1アナログ薬も肝機能と肝組織を改善させるとして、弱い推奨となっています。

NAFLDは、病態がほとんど進行しない非アルコール性脂肪肝 (NAFL) と、進行性で肝硬変や肝がんの発生母地にもなる非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に分類され、NAFLとNASHは相互移行があるとされています。NAFLの一部は、進行速度は遅いですが、線維化 (肝臓が硬くなる) が進行することもあります。またNASHが進行すると約10年後には約1~2割が肝硬変になります。肝硬変まで進行すると1年で数%に肝がんが発生するといわれています。

### FIB-4インデックス

よく測定される血液検査項目で肝臓が硬くなっているかを推定する

$$\frac{\text{年齢 [歳]} \times \text{AST [U/L]}}{\text{血小板 [10}^9\text{/L]} \times \sqrt{\text{ALT [U/L]}}}$$

FIB-4インデックスの値 1.30 2.67

1.3未満であれば、肝臓が硬くない可能性が高いと推定されます。

2.67以上であれば、肝臓が硬い可能性があると推定されます。

- 1) Shah, Clin Gastroenterol Hepatol 2009
- 2) Sumida Y. BMC Gastroenterol 2012



消化器内科 副医長 佐竹 真

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

